

性腺刺激ホルモン放出ホルモン製剤

要指示医薬品 指定医薬品

スボルネン®・注

【本質の説明又は製造方法】

本剤は、酢酸フェルチレリンを有効成分とする注射剤です。酢酸フェルチレリンは、性腺刺激ホルモン放出ホルモン（GnRH）のアナログであり、牛の卵胞のう腫、卵巣機能障害、卵巣静止の治療及び排卵促進に効果を発揮します。また、分子量が低く、抗体産生の可能性が非常に少ないため、反復投与が可能です。

【成分及び分量】

本品1mL中

有効成分	含量
酢酸フェルチレリン	50 µg

【効能又は効果】

牛：卵胞のう腫、排卵障害、卵巣静止の治療、排卵促進

【用法及び用量】

1回1頭当たり酢酸フェルチレリンとして下記の量を筋肉内に注射する。

牛：100～200 µg

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は、効能・効果において定められた目的のみに使用すること。
- ・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。

(使用者に対する注意)

- ・妊娠中の女性及び妊娠している可能性のある女性には注射作業を行わせないこと。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと（ガス滅菌したものを除く）。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

(対象動物に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(取扱い上の注意)

- ・本剤を分割投与する場合は、速やかに使用すること。
- ・本剤（バイアル）の使用時には、ゴム栓をエタノール消毒綿等で清拭すること。
- ・本剤はワンポイントアンプルを使用しているので、アンプルをカットする際には、アンプル上部の青色丸マークが上になるよう持ち、反対方向（下方）へ折るようにする事。

【薬理学的情報等】

(有効成分の物理化学的知見)

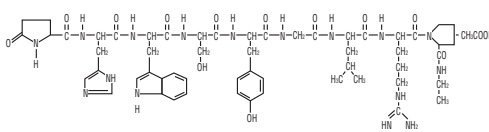
一般名：酢酸フェルチレリン

Fertirelin acetate

化学名：L-Pyroglutamyl-L-histidyl-L-tryptophyl-L-seryl-L-tyrosylglycyl-L-leucyl-L-arginyl-L-proline-L-ethylamide acetate

分子式：C₅₅H₇₆N₁₆O₁₂・C₂H₄O₂

構造式：



分子量：1213.36

性状：本品は白色～微黄色の粉末で、においはないが、またはわずかに酢酸臭がある。水、エタノールまたは水酢酸に溶けやすく、メタノールにやや溶けやすく、クロロホルムにほとんど溶けない。本品は吸湿性である。

(薬効薬理)

酢酸フェルチレリンは、下垂体前葉に作用し、黄体形成ホルモン（LH）及び卵巣刺激ホルモン（FSH）の分泌を促進する。

【包装】

2mL×5管、2mL×10管、
4mL×5バイアル、10mL×5バイアル

【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術
〒102-0073
東京都千代田区九段北一丁目11番5号
TEL 03-3264-7559

製造販売業者



共立製薬株式会社

東京都千代田区九段南 1-6-5

®登録商標

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

SPO03-MU2209